



帰国準備 (9)

帰国子女受入校：どんな特別指導？

最近、帰国子女を受け入れる学校が増えていると聞きました。
受入校では、普通の授業以外に、帰国子女のためにどんな特別指導をしてくれるのですか？



入学後にどんな指導？
その内容をよく調べて、
お子さんの学校選びを！

「帰国子女受け入れ校」とは、国内の子ども達とは異なった、海外から帰国した児童生徒が必要とする学習指導やサポートを提供する学校のことです。

学習指導内容

1、補習

日本の学校では、指導要領で定められた内容を、一斉授業で学習するのが一般的です。

その授業についていくためには、学習の遅れている教科や内容を勉強して、他の子ども達に追いつくことが必要です。

例えば、漢字・単語・言葉の量が少ない国語、練習量不足の算数・数学、日本の地理や歴史などの未学習内容の多い社会、現地校とは異なる内容や方法の理科などの、補習学習が必要になります。

2、英語

小学校の英語会話活動や中学校の英語は、現地校でサバイブした帰国生にとっては、英文法や英文和訳などのキャッチアップは必要ですが、トータルには簡単すぎる学習内容です。苦勞して身についた英語力をさらに伸ばして欲しい、というのは保護者の望みです。

指導方法

1、通常の指導

一斉授業の中で、先生が気をつけて個人的に指導する。授業についていくのに大きな問題のない児童生徒の場合や、学校に帰国子女を特別に指導する意図やプログラムのない場合にとられる方法。

2、特別な指導・サポート。

- A、「取り出し授業」 通常の授業時間に、特別に指導の必要な子どもだけを別のクラスに「取り出して」指導。
- B、「補習・特別授業」 放課後などに設ける特別なクラスで指導。
- C、「個別指導」 休み時間や放課後などに、担当の先生が個人的に指導。
- D、「習熟度別クラス」 英語・数学などで、国内生も含めて、学習進度やレベル別にクラスを編成して指導。

その他の指導

カウンセリング

帰国児童生徒（時には保護者も含めて）は、日本への帰国適応で学校・社会生活で大きなストレスを抱え、精神的・現実的問題に出くわす場合が多くあります。児童生徒の学習態度や成績について、いつでも相談に応じてくれるカウンセラーや教員が常駐しているのが理想です。

進路・受験指導

帰国生向けに入学試験などを受験して中学・高校・大学へ進学するための情報や指導内容は、国内受験の場合と大きく異なります。どの学校にも進路指導の教員はいますが、帰国子女入試を熟知している、また、そのための受験勉強を指導できる教員を確保できているかどうかは、帰国生・保護者にとって学校選択の大きな要素となるべきです。

新しい動き

「新しい学力」 文部科学省の指導要領にはない、新しい学力や能力の養成を目指した授業を提供する私立学校が増えてきています。「新しい学力」の内容は、海外の学校で子ども達が身につけてきたエッセイ・レポート・プレゼンテーションなどの「自己表現力」です。帰国生にとっては、これらをさらに伸ばしてくれる教育として期待できます。

「海外の大学への進学」 最近、帰国生の間で増えてきた欧米の大学への進学希望者の進学についてのアドバイスや、進学準備の学習指導のできる学校が出てきました。

学校選びを慎重に

日本の学校に対して、子どもや保護者が一般的に望む学習や進学についての希望はたくさんありますが、このコラムでは、帰国児童生徒のニーズのみをまとめてみました。ここで述べた項目を全て提供しているのは「夢の帰国子女受け入れ校」です。残念ながら、そのような学校は、（私の知る限り）ありません。

お子さんの学校選びに当たり、「帰国子女受け入れ校」という学校のPRを漠然と信じないでください。ここ述べた項目のうち、ご自分のお子さんに与えたいのはどれか、どの学校がそれを提供しているのかを、皆さん自身がしっかり調べ・理解して、学校を決めてください。

(松本輝彦)